

<記入の仕方>
 ○「自己評価」及び「学校関係者評価」の欄には、A~Dを記入してください。
 ○「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるかを明確にしてください。

学校名	新座市立池田小学校
実施日	令和3年12月1日

評価項目「独自」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
1	学校は、各授業において主体的・対話的で深い学びを推進するとともに、1時間ごとの分かる授業の展開と工夫を常に念頭におき、児童一人一人が学びやすい授業づくりに取り組んでいる。	A 3.58	学校行事等が制限されながら実施できたことに学習への効果が高められた。また、道徳の研修をとおして、考えを話したり、聴いたりすることが自己肯定感や学習意欲を高めている。さらに、教職員が子どもたちに向き合う時間を増やし、学力向上に努めていく。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動の実施にあたり、コロナ対策を考慮した内容を設ける等努力されているのが感じられた。 ・道徳の研究に前向きな教職員の姿勢が子どもの学習意欲向上にもつながっているように思える。 ・授業の積極的な取り組みに、学校の児童たちが良い方向に進んでいる。 ・子どもたちが道徳の授業に興味を持ったということなので、これからも力を入れて取り組んでいきたい。 ・良いと思う。 ・コロナ禍での授業に対する取組は工夫、研究されている。 ・コロナにより、分散登校、リモート授業など、先生方のご苦労、本当に感謝しています。リモート授業を息子の横で拝見していましたが、子どもたち一人一人の意見を聞き、展開して下さっている。 ・コロナ禍で学校運営のあり方を見直す良い機会ととらえ、積極的に情報を取り入れるなどして、新たな道筋を導きだそうという努力が見られた。 ・学校側とPTA・専門家との連携が池小は特に良く、充実感が伝わり良いと思う。 ・今年度も外部からの指導者・専門家を多く取り入れていて、とても良いと思います。 ・大変良いと思う。 ・地域の交流に積極的に取組み、信頼関係の構築に努められている。 ・制限がある中でも、各学年にそった内容を検討しながら対応して下さいます。
2	学校は、コミュニティ・スクールの推進のため、地域の人材・環境を学校に取り込み、保護者との連携について組織で対応し、連携を深めるなど、信頼関係の構築に努めている。	A 3.75	コロナ禍で人流が制限されている中、外部人材を多く取り入れ、専門的な学習内容を体験や講演をとおして培うことができた。さらに、毎日の子どもたちの様子を素材として積極的に収集し、公開を制限している教育活動をHPやICT等で配信するように努めていく。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革実施を行うには、現状のままでは無理があるのは当然であり、不満も出やすい。分掌内容、教育活動内容の思い切った見直しが必要と思われる。職員が納得できるような内容なり、組織の見直しも検討されると良い。 ・コロナ禍で特に教職員の感染が心配ですが、体調管理に十分気をつけられ、校長・教頭始め教職員の方々が責任を果たしている。 ・更なる教職員の働き方改革に期待。 ・大変良いと思う。 ・新型コロナウイルス感染防止対策を常に考えており、体調管理にも注意しておられる。 ・コロナが収束を見せず、大変な状況が続いています。授業以外にも様々なことに時間がとられています。残業時間が減少したとお聞きしましたが、休日出勤の時間も減らせるよう工夫していただければと思います。 ・職員さんの在庁時間が多いようですが、負担にならない程度にて、良い事と思います。
3	学校はふれあいデーを完全実施するなど、教職員の心身の健康を守る働き方改革を行っている。	A 3.60	ふれあいデーの実施はできている。教職員一人一人のキャリアによる働き方意識が明確に二極化している。仕事量を負担と感じているのは中堅やベテランが多く、会議の毎の時間や回数をあげたのは若手であった。校務として分掌されている責任を自覚して、計画的に内容を実施していくよう求めていく。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革実施を行うには、現状のままでは無理があるのは当然であり、不満も出やすい。分掌内容、教育活動内容の思い切った見直しが必要と思われる。職員が納得できるような内容なり、組織の見直しも検討されると良い。 ・コロナ禍で特に教職員の感染が心配ですが、体調管理に十分気をつけられ、校長・教頭始め教職員の方々が責任を果たしている。 ・更なる教職員の働き方改革に期待。 ・大変良いと思う。 ・新型コロナウイルス感染防止対策を常に考えており、体調管理にも注意しておられる。 ・コロナが収束を見せず、大変な状況が続いています。授業以外にも様々なことに時間がとられています。残業時間が減少したとお聞きしましたが、休日出勤の時間も減らせるよう工夫していただければと思います。 ・職員さんの在庁時間が多いようですが、負担にならない程度にて、良い事と思います。

評価項目「組織運営」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
4	学校は校務分掌や主任制を適切に機能させるなど、組織的な運営・責任体制を整備している。	A 3.46	教職員一人一人を適材適所に校務を割り当てている。責任の重みも一人一人違いがあるので、分掌内で効率的に分担し、働きやすいように工夫していく。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・組織として、どのように機能しているか、動きが効力を発揮しているかが大きな比重を占めると思われる。池田小の組織が十分機能しているように職員の動きから感じられる。 ・教職員の積極的に教育に取り組む体制が良い。 ・コロナの影響で児童の対応も大変ですが、先生方がそれぞれの役割をこなしていると思います。 ・良いと思う。 ・コロナ禍においても、元気に登校している様子、学力向上についても積極的に取り組んでおられる姿勢が伺える。不登校児童については、粘り強く頑張ってください。 ・スキルや経験が異なる職員の先生方の負担にならないよう、校長先生教頭先生を中心に対応していただくと良いと思います。
5	学校は経営方針を具現化するために、学校評価の実施等を通じて、PDCAサイクルに基づく学校経営を行っている。	A 3.54	コロナ禍において、校長の指示伝達内容の徹底や経営方針について教職員一人一人が目標の連鎖を図り、常に「報・連・相」を意識して取り組んでいる。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校長を信頼し、校長を柱とした職員の前向きな姿勢を強く感じる。若手からベテラン教師に至るまでしっかりと連携がとられているように思われる。 ・学校側、校長・教頭・教職員が教育に対し、積極的に取り組んでいて大変に良い。 ・良いと思う。 ・教職員皆さんのチームワークの効果が伺われます。プラン・実行・評価・改善の回転。 ・教頭先生が評価実施について先生方にヒアリングしながら対応したとお聞きしました。今後一人一人の先生とのコミュニケーションを大切にサポートしていただくとよいと思いました。
6	学校は事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるように、危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。	A 3.67	まずは新型コロナウイルスに感染させないことを念頭に日々の予防や防止策を行ってきた。マニュアルについては日々改善しているが、2年ぶりに実施した全校児童を動かしての避難訓練において課題が見えた。やはり、毎年実施し、その都度改善することに意義があることが分かった。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの心配はあるが、マニュアル通りにはいかないことも工夫をしながら対応されている。 ・全校生徒が避難訓練をはじめ色々なマニュアルを体験してほしいです。 ・近年、地震も多くなっているので、避難訓練が実施できてよかったです。 ・大変良いと思う。 ・不審者には気をつけてください。(町内掲示中です) ・グループ等で集まる時は、3密に気をつけましょう。(手洗い、マスク着用) ・コロナ対応も大変な中、災害のための訓練等も実施していただいているとのこと、コロナ禍での安全対策、手探りだと思いますが、今後もよろしくお願致します。

評価項目「学力向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
7	学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、学習ルールを定め、それに基づいた授業を展開している。	A 3.83	次時の学習準備後の休み時間および席間チャイムの徹底により、スムーズに授業に入れ、集中できるようになってきた。ICT活用のルールについても繰り返し指導してきた。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学力が年々伸びていることは教職員の努力あつてのことです。子どもが先生を慕い、保護者が学校を信頼して一体となった組織づくりが見える。 ・児童の一年間の大きな成長を感じ、全職員の方々に感謝しています。 ・大変良いと思う。 ・学力向上の成果が伺える。コロナ禍の中現状維持が保たれる様頑張ってください。 ・コロナ対応も大変な中、早い段階からICTを取り入れ、授業内容としても高いと思います。今後も引き続き継続してください。
8	学校は、各教科の指導において言語活動を重視した授業を展開し、児童生徒の思考力・判断力・表現力等の育成に努めている。	A 3.74	「読む 書く 聴く 話す」の指導を重視し、授業のまどめには必ず振り返りをさせ、自分の言葉で学習内容を表現する時間を設定している。一単位時間に一人一回以上の発言を目標に、互いが考え合う授業展開に努めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを自分の言葉で表現することは、聞き手も重要な役割を果たしている。聞き手・話し手の聞き方、相手に分かる話し方等が今後の課題のように思える。 ・学校の方針は年々良く、全児童にとっても大変良いと思います。 ・非常に良い。 ・大変良いと思う。 ・本校で取り組んでおられる方針が良いと思います。 ・子どものノートを見ると、授業内容とともに、「どう考えたか、なぜそう思ったのか」問われていることが多く、先生方の指導を感じます。さらに1人1人の発言する力をのばしていただければと思います。
9	学校は学習指導要領や県編成要領、新座市指導の手引きに基づき、児童生徒の発達段階や学力、能力に即した学習指導を行っている。	A 3.65	全教科とはいえないが実施している。しかし、単元毎に必ず確認するなど決めてやっていくよう努めていく。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学力差はつきまとうことであり、個別指導や空き時間、友だち同士の教え合いなど様々な工夫が感じられる。 ・校長・教頭の指導に基づき、池小の学力が向上し、新座市内の小学校で上位になり、大変良いですね。 ・結果として国語・算数が伸びている。子どもたちのモチベーションも上がって良い。 ・大変良いと思う。 ・学校の学習指導要領が良いと思います。 ・学校だよりで学力テストの結果等を報告しながら分析していただいて、とても分かりやすいです。子どもたちの課題も見えていますので、今後も対応をよろしくお願致します。

10	学校は、英語(外国語・外国語活動)の授業の充実するなど、グローバル化に対応できる児童生徒の育成(国際理解教育の推進)に努めている。	A 3.48	1, 2年の英会話が月1回程度に減少するなか、3年生以上への評価が義務づけられた。教職員によって評価のバラツキがないように校内研修が必要となる。	A	・英会話(英語が話せる)の喜びを味わうには、英語で話す日を設けるなど会話を通じる喜びを味わわせてみる等はどうでしょうか?子どもはかなり力がついているので、その英語力を発揮できる工夫を考えてあげたい。 ・今日では、全国の小学校で一年生から国際化に向けた学習。 ・良いと思う。 ・1・2年生から英会話が始まっています。楽しみながら、話す力を伸ばして行ってほしいです。
----	---	-----------	--	---	--

評価項目「豊かな心の育成」

No. 2

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
11	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、「です、ます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	A 3.63	進んであいさつできる子どもたちが多くなってきた反面、指導をしているものの浸透していかない現状がある。「いつでも、どこでも、だれにでも」を合い言葉に繰り返し指導していく必要があると感じている。そのためにも、教職員自らが範を示し、毎日気持ちよく生活できるようにしていく。	A	・あいさつがなぜ必要か、挨拶のない生活を体験し、子どもたちがどう感じるかが原点となるように思う。気持ちよい挨拶が自然にできるようになって挨拶をすることの意義が見えてくるはず。 ・学校内では元気に来校者に挨拶をするが、見守りをする人には挨拶をする子供が少ない。 ・下校途中とても良くあいさつしてくれるが、一部の子もたちが言葉遣いが悪くて残念。 ・良いと思う。 ・週2回(火・金)15:00~3グループにてパトロール。下校時の児童の挨拶、言葉遣いは模範生です。 ・学校に行くといつも子どもたちがあいさつしてくれています。半面、登校班や地域で会った時には実践されないで、わが子も含め声かけしていきたいです。
12	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さや努力を認め合って学校生活を送れるような環境を整備している。	A 3.75	トラブルが発生したら、子どもたちからの情報を積極的に取り入れ、早期発見・早期対応を心がけている。不登校や不登校傾向の児童については、改善の兆しが見られるものの、原因が学力遅滞や生活習慣の乱れ、集団への不安感等があり、引き続き家庭との連携が必要である。	A	・いじめや子ども同士のトラブルへの積極的な対応を全職員で取り組んでいる様子が見受けられる。不登校0に向けての努力を今後も続けてほしい。 ・児童生徒がいじめや意地悪な行為を受けていないのに、不登校の子がいると聞き、なぜだろうと心配しています。教職員の指導が良いので、いじめや意地悪な行為を耳にしたことがない。良いことです。 ・不登校児童の改善には根気がいると思いますが、頑張ってください。 ・大変良いと思う。 ・不登校の児童の対応は大変だと思いますが、頑張ってください。 ・トラブルや子ども同士の思いの行き違いなど、日々の対応の中で早期発見・早期対応で防止していただければと思います。
13	学校は教職員自らが手本となり、児童生徒に対して規律意識を高める指導を行っている。	A 3.71	道徳の授業や学校の全教育活動を通じて行っている。しかし、保護者同士のトラブルを学校に持ち込まれ対応に苦慮している。また、同様に、子ども同士のトラブルについても保護者の理解が得られないことがあり、指導の仕方にも苦慮し、教職員が困難を窮めている。	A	・道徳は学校教育のすべての基盤であり、子どもの心、人間としての価値を築く重要な教科である。本校が道徳教育の重要性を先取りし、研究されていることがすべてに影響し始めているように思える。 ・学校側(校長・教頭)の指導が良いので、教職員が生徒に良い指導をしている。 ・先生方の負担が増えることが心配です。 ・大変良いと思う。 ・保護者とのトラブルについてはご苦労様です。道徳授業は時間がかかるとは思いますが、生命を大切にすること、他人を思いやる心等のご指導をお願いします。 ・子どもは道徳ノートを見ると、身近なテーマを取り上げ、考え、書く様子が伝わります。先生方だけでなく、保護者にも求められていることだと思います。

評価項目「健康・体力の向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、体育や部活動・休み時間などにおいて意欲的に取り組めるよう指導に当たっている。	A 3.50	日常の生活の中で、今まで想定されなかった怪我や事故が増えている。顔や頭等・足や腕、手の骨折や捻挫は、降りたり、ぶついたり、歩いていたりしただけでも起こってしまう状況である。基礎体力の低下が顕著であり、根本的な改善が必要である。まず、毎日外に出て、運動をする時間を設定し、健康的な生活づくりを徹底していくことが大事である。	A	・コロナによる社会状況も大きく変わろうとしている中で学校教育も見直しの時期が来ている。そのような状況で体力低下をいかに抑えるかの健康カリキュラムの設定を考えていく必要があるように思う。 ・学校行った時、体育や休み時間に校庭で元気に運動している姿を見たり、元気な声を聞こえると楽しく思える。 ・コロナの影響もあり、外で遊ぶ子も減っている。その反面、スケートボードなどで遊んでいる子も多く、転んでけがをしないかと心配です。 ・良いと思う。 ・ジョギングやキャッチボールをしたり、体を動かす機会を増やすことが大事です。汗の出る動きが必要。 ・体力低下が心配されます。体力カードの実施や、体育、業間など工夫していただいています。さらに楽しみながら体を動かす掃除なども効果的だと思いますので、指導をお願いします。
15	学校は、食に関する意識を高める食育に取り組みなど、計画的に健康教育を推進している。	A 3.88	コロナ禍において「黙食」を指導してきたが、学校内だけではなく、学校外においても子どもたちに浸透していることが分かった。分散登校時においても、昨年度の経験を生かして適切な対応ができてきている。行事食や地域の伝統食、外国の料理、また、リクエスト献立、学年の学習を生かした献立づくりを工夫し、食を楽しむことの大事さを指導している。	A	・食育教育の大切さ、とりわけ学校給食について栄養士、調理員との一体化した献立づくりが行われている。給食指導にも担任による食への関心を高める取組が行われている。 ・池田小学校の給食会に何度か参加して、児童たちと一緒に給食を食べさせて頂きました。調理員さんの努力で大変おいしい給食を食べる子供たちに、一緒においしいねと話したことを思い出しました。 ・自校給食なので、温かいものを食べられて本当に良い。 ・大変良いと思う。 ・学校協の畑にて時期野菜を育てるのも土づくりからの教育の一つです。給食交流会に行かれないのが残念です。 ・「黙食」ではありませんが、食べる楽しみを広げていただいていると思います。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
16	学校は、保護者や地域住民の意見を取り入れる機会を積極的に設け、学校に寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応している。	A 3.63	様々な内容の要望等が学校に寄せられているが、全てを真摯に受けとめ、早期対応を心がけてきた。クロムブックの操作の問い合わせについても、状態を把握しながら、全職員をあげて丁寧な対応を心がけた。	A	・地域と一体となった学校運営が行われており、密に連絡を取り合い、地域や保護者の声を受け入れられたり、受け止めたり適切な対応が図られている。 ・コロナ禍のため、本町会はもちつきが出来なかった。いつもですと、池小の校長・教頭をはじめ、色々な方の参加がありました。今回サンタさんのプレゼントで池小の子どもたち100人の参加を頂き、大変良かったと思いました。 ・PTAと協力して先生方の負担にならないよう対応できると良いですね。 ・良いと思う。 ・クレーム等の早期対応でご苦労様です。 ・様々な対応、本当にご苦労感じます。PTAや保護者も含め、対応できればと思います。
17	学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。	A 3.96	教職員は学級通信で、毎日の生活での出来事を素材として収集した。学校行事等は、同時生配信や動画編集配信など工夫に努めている。HP担当は、収集したデータを分かりやすく編集し、毎日の更新を心がけ情報提供に努めている。	A	・学校の様子を保護者、地域をはじめ、広く広報しているのは大変素晴らしいことです。地域、保護者に信頼される池田小として前進しているように思われる。 ・大変良いことです。 ・とても良い。 ・大変良いと思う。 ・池小だより、学校内での授業、PTA、給食等の情報が分かりやすい。 ・ホームページ、学校だよりともに、学校の様子、子どもたちの様子がとても良く伝わってきます。運動会のライブ配信の対応も良かったです。
18	学校は、学校応援団組織を活性化させるとともに、保護者や地域と連携して声かけ運動、美化活動、不審者対策など、計画的に実施している。	A 3.63	コロナ禍のため、学校応援団の活動も必要最小限に留めた。教職員からは要望が寄せられていたが、運営する側の計画の遅れが必要と供給にアンバランスを生んだ。大規模な行事等は、計画的に運営できるように準備が必要であった。	A	・信頼されてこそ安定した学校運営がなされるものですが、教職員のひたむきな姿勢と努力が池田小を作り上げていると思われる。3年先、5年先を見つめた先進校としての学校の在り方を感じる。 ・学校・PTA・地域が一体となって安心安全住みよい町にしたい。 ・シルバーさんの見守りは大変ありがたい。 ・良いと思う。 ・日常の見守りパトロールを声を掛け合い、安心安全な町づくりに続けていきたいと思います。 ・PTA、保護者ができることがありそうです。今後も考えながら協力していきたいです。